

# 三密でできるような対策できませんかなあ

**相** 変わらずコロナ禍で大阪も大変ですわ。飲食関係なんか、つぶれるところも出てるし、僕のように行くところでも、閉店まで行かんでも、スペースを縮小したり……。製造業もあぶないです。

そやけど、昔は東大阪では、小さなところでも、つぶれなかつたんです。

なんでや言うたら、暇やつたら忙しいところに手伝いに行つとつたんです。今みたいにスマホでの交流やのうて、隣近所に本当の交流があつたんです。

中小企業の創業者は、それぞれ腕に覚えのある人ばかりやつたから「忙しいから、手伝いに来てや！」というたら「行くわ! 一日なんほな」という調子でした。

それで、自分とこの会社の家賃とか払えとつたんです。

それが今は、そういう人が高齢者になった。

後継ぎが居てなくなつてきている。

仕事も、例えば、プラントで一年、二年かかる仕事はないんですよ。一からやる大きな仕事がありませんのや。おまけにビルなんかでも、今は既製部品の組合せやから、オーダーメイドいうんは少ないです。

一方で、コロナのおかげで、なんでも安ければええ、と海外

に委託しとつたのが、マスクに限らず、必要な工業製品を輸入できなくなつたり、しましたなあ。

これではだめやな、ということが政治家も経済人もわかつたかな、と思つたりしてんやけどね。どうですやろ。

**いいものつくろうと思つたら  
アイデアが出てくるんですよ**

コロナがきっかけで、いろんなものをリセットしていかんとあきません。

これはチャンスですわ。チャンスととらえて生かす。中小企業は飲食でも、製造業でも大変なんです。

そやけど、本当に志のある、料理が好きとか、モノづくりが好きとかいう人には伸びてほしいわねえ。

ただ、もうかるからやるいうのは、いかなものかなあ、と思ひます。

いいものつくろうと思つたら、アイデアが出てくるんですよ。そのアイデアが中小企業を活性化する原動力やと思ふんです。

コロナが来年もつづくようなら、困つたもんやと思ふんやけど、今、何をやるべきかと考えんといかんし、ウチもいい企業と、もつとタッグ組めるようにしていかなとあかんのかなあ。



●(株)アオキ取締役会長

青木 豊彦

(あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。2020年、国立滋賀医科大学有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。

中小企業が、みなが生きた情報を持てるようにしていかないけません。生きた情報言うのは、相手の人物の評価ができるということです。

話がコロッと変わります。「またかいな」というような顔を、東京のおっちゃんはしてますが、無視します(笑い)。

コロナを利用してサギが多いそうです。

「オレや、コロナにかかったみたいやから病院に行くわ。検査にお金かかるやけど、今金ないわ」とか「水道局ですが、新型コロナウイルスが下水管にくっついてるから、除染にいきます」といった新しい手口のコロナバージョンがあるそうです。

こんなんに高齢者がなんでだまされるの?これは横のつながりゆうのを、よう見ていかんといけません。

つまり、知り合いおったら、すぐ電話して「こんなんあった、どう思う?」ってなりますやんか。それが、薄うなってるのかなあ。

人のつながりを生きた情報ということに、もういっぺんもっていかんといかな。

### 大阪では詐欺にひっかったことも 恥ずかしがらんと話します

ほら、サギの話しても、さっきの生きた情報に、ちゃんとながったやないですか(笑い)。一見、話が変わったようでも、根っこでは同じこと話してますのや。どうです?!

「大阪のおばちゃんは、『オレ、オレ』と電話かかってきて、『どちらのオレさん?』言うて、サギをかわしてしまおうと聴き



●大阪府警は「使用を控えて」というが、大阪のおばちゃんは自転車に傘を取り付け雨除け日除けに

ましたが」と東京のおっちゃん。

それもあるし、大阪ではサギにひっかったことも話します。恥ずかしがらんと。

東京中心の考え方やと、自分が失敗したとき、恥ずかしい、人による言わんという文化があるのと違いますか。

今、コロナで、交流が、人と人のつながりが、ますますむずかしくなってるような気がします。三密したらあかん言うけど、三密できるような対策とつてももらえませんかあ。三密を生かせるようなことを考えてもらわんと、サギも、人とつながりなくして心を病む人も、増えるかもしれせん。いや、増えてると思いますね。

第一、さみしいやん、人生として。僕も七五歳になつてつくづく思うんやけど。親友言うのはこの年になつてもさがしているのかもしれない。それも同じ業界やなく他の分野の人がええなあ。

老後に施設に入つても、恋愛あり、と違うかなあ。九〇代と八〇代の恋愛なんて、すばらしいと思うけどね。